

令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業ビジネス支援課

担当名：農地活用担当

内線：4097

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B8	未利用農地の利活用促進事業		一般会計	農林水産業費	農業費	農業振興費	農業経営基盤強化対策費	
事業期間	平成30年度～ 令和5年度	根拠法令	農地中間管理事業の推進に関する法律			宣言項目		
					分野施策	040936 農業の担い手育成と生産基盤の強化		
1 事業概要			5 事業説明					
<p>未利用農地が比較的多い中山間地域において、農地の整備と地域特性を活かした農産物の導入を一体的に支援し、農産物の観光施設への供給などにより交流人口を増やして中山間地域の活性化を図ることで、未利用農地の利活用を促進する。</p> <p>(1) 事務費の節減 △17千円 (2) 事業量の減 △2,104千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 推進事業 361千円 未利用農地の整備及び活用による地域の活性化に向け、関係機関との調整を行い、事業実施のための推進を行う。</p> <p>イ 耕作条件整備事業 2,719千円 地域の未利用農地を含んだ農地中間管理事業の実施と併せて、耕作条件の整備を推進する。</p> <p>ウ 生産支援事業 7,466千円 観光農園などの地域特性を活かした観光資源の活性化を図るために必要な経費について、事業内地域特性を活かした農産物の導入を促進するため、農業機械・施設・苗木等の購入費用等を助成する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 未利用農地が増加する地域において、地域の農業者及び関係機関と事業実施について合意形成を図る 2地区 イ 農産物等の導入 2地区</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>未利用農地が多い地域における農地の荒廃化の抑制効果が期待され、農地中間管理事業により担い手への農地集積が促進されるとともに、新たな地域特産物の開発や加工品の販売等により、地域経済の活性化が図れる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況</p> <p>市町村、農業委員会等と連携し、効果的・効率的な事業の推進を図る。</p> <p>(5) その他</p> <p>事業を活用し担い手への農地集積を進めるとともに、観光農園の活性化による地域全体の農業発展を積極的に進めるにあたり、農地中間管理機構及び関係各機関との連携体制を強化する。</p> <p>(6) 補正予算の概要</p> <p>事務費の節減、事業量の減による減額補正 △2,121千円</p>					
2 事業主体及び負担区分								
<p>(1) (国1/2、県1/2) (2) (県7.75/10) 事業者2.25/10 (3) (県1/2) 事業者1/2</p>								
3 地方財政措置の状況								
なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×0.5人=4,750千円								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△2,121	国庫支出金					△2,121	8,425
現計額	10,546	108					10,438	